

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

権現山で植樹イベント (5月31日 有漢町権現山)

「私の青空 - 岡山空港・岡崎嘉平太の森づくり」が開かれ、参加した市民ボランティアら約300人が、山頂付近0.8畝にドングリの苗木約2,400本を植樹しました。

このイベントは、主催の全日本空輸株式会社（東京都）が行っている森づくり活動の一環で、岡山空港開港20周年を記念して開催されたもの。同社社長の大橋洋治さんが本市の市政アドバイザーであることから市内での開催となり、森の名前は名誉県民で同社元社長の故・岡崎嘉平太さん（吉備中央町出身）にちなんで名付けられました。



「春のよみきかせ会」を開催 (5月15日 川上総合学習センター図書室)

川上町の読み聞かせボランティア「おはなし・やたかっ子」が地域の乳幼児とその親を対象に、「春のよみきかせ会」を実施しました。昨年度から実施しており、今年で2回目。大型絵本の読み聞かせやエプロンシアター、手遊びなど盛りだくさんで、参加した親子は楽しい時間を過ごしました。

県下16チームが熱戦! (5月11日 成羽運動公園)

「学童軟式野球成羽大会」が開催されました。この大会は、成羽野球スポーツ少年団が発足時から県内の少年野球チームに参加を呼びかけ毎年開催しているもので、27回目となります。今年は市内6チーム、市外10チームが参加し、3ブロックに分かれて熱戦を繰り広げ、訪れた観客は子どもたちの懸命なプレーに温かい声援を送っていました。



今注目のエクササイズで健康づくり (5月24日 吉備国際大学国際交流会館)

市民を対象とした「第18回吉備国際大学公開講座」が開催されました。今年のテーマは“健康”。この日はおよそ70人が受講。受講者はエアロビックのリズミカルな曲に合わせて体を動かし、気持ちの良い汗を流しました。後期の講座は9～10月に開かれます。



有漢東分団が県消防操法訓練大会に出場 (5月18日 岡山県消防学校)

市消防団の代表として、有漢東分団が「第55回岡山県消防操法記録大会」小型ポンプ操法の部に出場。僅差で入賞は逃しましたが、応援団の声援の下、訓練成果を十二分に発揮しました。

なお、4月号で紹介した特別表彰「まとい」を、有漢地域局に展示しています。今後、各地域局管内に順次、展示する予定です。

あそびの日を満喫

(6月1日 ききょう河原)

たかはしレクリエーション協会が、自然と触れ合いスポーツを楽しむ野外イベントを開催し、家族連れら約200人が参加。河川敷に設けられたいけすでは、子どもたちが歓声を上げながらヤマメを捕まえていました。わら草履づくり講座、近くのききょう緑地ではニュースポーツのコーナーもあり、にぎわいました。このイベントは日本レクリエーション協会が定める「あそびの日」キャンペーンの一環として行われました。



田んぼって気持ちいい

(6月4日 宇治農村公園)

市は子どもたちの農業体験を通じ、食育・食農の推進を図っています。この日は高梁小学校5年生74人が、地元の「ふるさと農法研究会」の指導で手植えの田植えを体験。田んぼに入ると児童たちは「ぬるぬるして気持ちいい」と大はしゃぎ。その後、熱心に植えていました。サツマイモも植え、10月ごろには収穫に訪れる予定です。

健康の大切さを知って

(5月17日 市内大型店舗)

看護週間(5/11~5/17)に合わせ、「成羽病院看護展」を行いました。健康の大切さや看護について知ってもらおうと毎年この時期に開いていますが、今回初めて病院外で実施。買い物客らが健康チェックや相談コーナーに立ち寄り、職員からのアドバイスを受けていました。



今月の 表紙

今月の表紙 雨上がりの帰り道

朝降っていた雨もすっかり上がり、子どもたちはいつもどおり楽しくおしゃべりしながらの下校。田植えが済んだばかりの水田に古刹の石垣と白壁が映り、黄色い傘が彩りを添えていました。